

(特別支援学校版「学力向上実行プラン」様式)

平成30年度 徳島県立池田支援学校「学力向上実行プラン」

池田支援学校長

中内 貴文



1 学力向上検討委員会構成

学 力 向 上 検 討 委 員		
	職名・校務等担当名	氏名
管理職	校長 教頭 教頭	中内貴文 新居見猛 名山泰子
学力向上推進員	教諭(教務課長)	高橋陽子
委員	教諭(小学部長) 教諭(中学部長) 指導教諭(高等部学部長) 教諭(教務課長)	吉田恵美 米澤礼子 藤本豊春 高橋陽子

2 学力・学習状況における現状分析, 目標等

【3つの視点】

- (1) 基礎的・基本的な知識・技能の習得
- (2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成
- (3) 主体的に学習に取り組む態度の育成

(中 学 部) 幼 児 児 童 生 徒 の 状 況		
よ さ	生徒の実態に応じた役割での販売体験や地域へのポスター掲示を通し、他者のために役に立つ体験ができ、働く楽しさを知ることができた。また、職場見学や施設見学等を通して、働くことに対する意識の向上を図ることができた。	課 題
	将来の生き方・働き方について、主体的に考えることができるよう、体験的な学習を通して現実の社会を学ぶ機会を増やす必要がある。	
具体的目標(目指す子どもの姿)	成果指標	達成状況
①自分の役割を理解し、学校や地域の中で他者のために役立とうとする。 ②いろいろな進路があることを知り、働くために必要な意欲と態度を身に付ける。	①個々の実態に応じて、校内外での販売体験を年2回、近隣の施設訪問にて学習成果披露を年1回実施する。 ②職場見学や施設見학을年1回、高等部就業体験期間中に見学及び体験学習を年1回以上実施する。	評 価
具体的方策(教員の取組)	取組指標	取組状況
①校内外での販売体験活動や施設訪問の機会を設定し、意識と学習意欲の向上を図る。 ②高等部や施設と連携し、就業体験期間中に見学及び体験の機会を設ける。 * 中間期の見直し	①販売体験や施設訪問等の学習を通して、地域の人と積極的にふれあおうとするよう意識の変容を目指す。 ②身近な先輩や卒業生の働く様子を見学したり、共に働いたりすることで、体験的に働くための意欲や態度の向上を図る。	
達成状況を踏まえた改善事項		